

黒星病を中心としたりんごの主要病害を防除できる

果樹用殺菌剤「クミアイキワミ®PZ水和剤」

「クミアイキワミPZ水和剤」は、りんごの主要病害を防除できる殺菌剤です。幅広い病害に予防効果を示し、耐性菌リスクが低い有効成分マンゼブと、黒星病に優れた治療効果を示す有効成分ピジフルメトフェンの混合剤です。令和7年2月よりクミアイ化学工業(株)から販売しています。

特徴

りんごの主要病害に登録、
既存の耐性菌にも効果を示す

マンゼブ（多作用点接触活性化化合物：FRACコードM3）は、植物体を外から保護し、病原菌が植物体へ侵入するのを阻止します。ピジフルメトフェン（コハク酸脱水素酵素阻害剤、SDHI：FRACコード7）は、発芽管・菌糸伸長阻害作用を持ち、植

物に侵入した病原菌にも効果を示します。また、少ない薬量でも効果を発揮するため、環境への負荷が低い有効成分です。

表1に示すように、黒星病、斑点落葉病、黒点病、褐斑病、炭疽病など、りんごの主要病害に登録があります。

作用機作が異なる成分の混合剤のため、耐性菌が発生しにくくなり、りんご主要産地で問題となっているDMI剤（FRAC3）、QoI剤（同11）の感受性が低下した黒星病菌にも高い効果が期待できます。

黒星病に優れた予防効果と
治療効果を発揮

黒星病は、りんごの葉・枝・果実に発生し、葉ではすす状の黒緑色の病斑、果実では褐色・カサブタ状の病斑を生じ、経済的な被害をおよぼ



す病害です。全農 営農・技術センターで行った試験では、この病害に対して、本剤は優れた予防効果と治療効果を示すことを確認しました（図1）。
長い残効性と
優れた耐雨性を示す

本剤は、降雨および光分解の影響を受けにくく、散布してから一定の時間経過後に雨が降っても効果が持続します。当センターで実施した試験では、薬剤散布3時間後に、20mm/hの雨量で1時間降雨処理を行った場合でも、高い効果を示しました（図2）。



本剤は、りんごの主要病害に登録がありますが、黒星病に高い効果を示すことから、開花直前から落花直後の黒星病重点防除時期に、基幹防除剤としてご使用ください。

●問い合わせ先

クミアイ化学工業(株) TEL.0120-977-357

【全農 営農・技術センター 農薬研究室】

表1 「クミアイキワミPZ水和剤」の適用作物および適用病害（令和7年1月時点）

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数	ピジフルメトフェンを含む農薬の総使用回数	マンゼブを含む農薬の総使用回数
りんご	黒星病 斑点落葉病 黒点病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病 炭疽病 うどんこ病 赤星病	500倍	200~500L /10a	散布	収穫30日前まで	2回以内	2回以内	3回以内

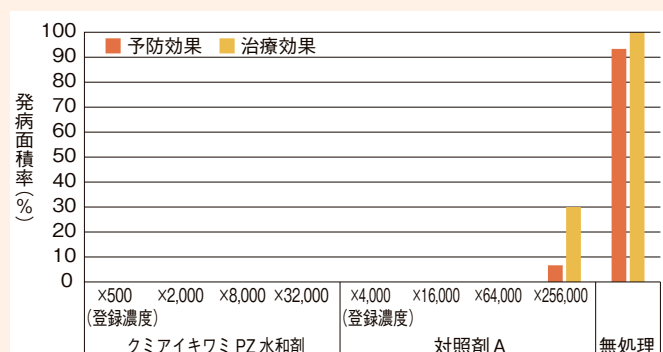


図1 リンゴ黒星病に対する予防効果と治療効果(ポット試験)

試験場所：全農 営農・技術センター 農薬研究室

試験概要：登録濃度とその1/4濃度、1/16濃度、1/64濃度に希釈した薬液をりんごの実生苗に散布した

予防効果は散布翌日、治療効果は散布2日前にリンゴ黒星病菌を接種した

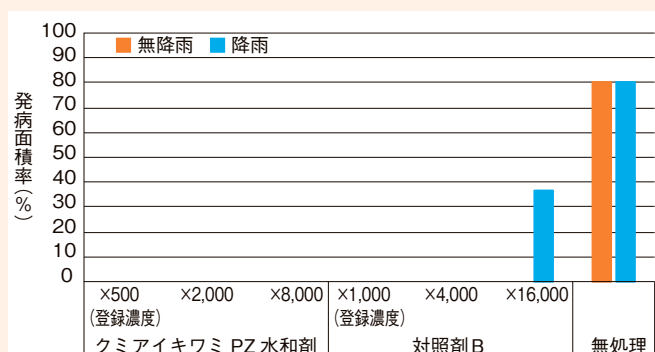


図2 リンゴ黒星病に対する予防効果に降雨が及ぼす影響(ポット試験)

試験場所：全農 営農・技術センター 農薬研究室

試験概要：登録濃度とその1/4濃度、1/16濃度に希釈した薬液をりんごの実生苗に散布した

薬剤散布3時間後に、20mm/hの雨量で1時間降雨処理を行った

散布翌日にリンゴ黒星病菌を接種した